

「里山の維持再生ゾーン」の実現に向けて

～市民協働による持続可能なまちづくりのモデルケースとして～

「木津川市地域連携保全活動応援団」の活動内容

木津北地区において、里地里山保全活動を進めていくにあたり、活動団体、地元地域、企業および関係機関等との調整が必要なため、そのコーディネーター機能の役割として、学識経験者や活動団体、関係機関等の方々で構成した「木津川市地域連携保全活動応援団」という団体を設けています。

先般、応援団の会議を開催し、木津北地区に関する今後の進め方などについて、さまざまな議論をしました。

以下に、主な内容をご紹介します。

(1) 地区内管理用通路の整備

荒廃している部分が多い地区内を活動団体とともに、散策できるような通路の整備をおこなっていきます。(車が通れる道ではありません。)

計画しているルートが長いことから、徐々に進めていくため、短期間での完成は難しいですが、完成すれば絶好のハイキングコースになるかもしれません。

(2) 活動用トイレの設置

活動地区にトイレがないため、活動地2箇所に環境型のトイレを設置します。

(3) 地元地域(鹿背山)との連携

当地区において、計画を進めていくには、地元地域の皆さんのご理解・ご協力が必要なことから、計画を進めるにあたり、地元と十分協議し、連携して進めていきます。

(4) 情報発信の推進

現在、情報発信の手段としては、市の広報紙やホームページを活用しているところですが、今後、イベント情報などについては、市内の小・中学校、幼稚園、保育園などへも直接周知していくとともに地域情報誌やSNSを積極的に活用し、広く情報を発信していきます。

今後、年数回この会議を開催し、木津北地区について、検討していきます。

木津北地区活動団体紹介(鹿背山元気プロジェクト)

鹿背山の伝統行事「虫送り」とホタル観賞に参加しました。

6月28日くもりのち雨。鹿背山区の伝統行事である虫送りがおこなわれた日です。この日は、午後から3つの子育てグループ(総勢60人)がベースキャンプを訪れ、たいへん賑わいました。

参加者は晩ごはんのカレーやピザを作ったり、夜7時半からの虫送りの松明行列に参加し、鹿背山を練り歩きました。

虫送りでは、地域のパワーと団結を感じることができ、若い人や子どもが多くて、みんな楽しそうでした。

里山の水路や池ではホタルが静かに光っていました。こどもたちは、ホタルを見て興奮し、夏の夜の楽しい思い出になったことでしょう。



◀晩ごはん作りの様子



◀虫送りの様子

「鹿背山元気芸術祭」参加者募集!!

平成27年2月にこどもたちの作品作りをしますので、参加を希望される方は問い合わせください。

とき 平成27年3月21日(土・祝)・22日(日)

主催・問合 鹿背山元気プロジェクト 中村 ☎090-4274-4346

E-mail: nnnet@mbox.kyoto-inet.or.jp URL: <http://kaseyama.blog.so-net.ne.jp/>

共 催 きづがわネット

木津北地区保全推進室（都市計画課内）☎75-1222